

「障害者週間」

記念のつどい

障害のある人もない人も共に生きる社会

12/9 日

12月3～9日は
障害者週間です。

入場無料

先着400名



新作映画

シーンボイス字幕付き

バケツと僕!

児童養護施設を舞台に繰り広げられる、「個性的なバケツ」と「弱気な僕」の特別な日々。笑いと涙があふれるハートフルな友情物語。



©映画「バケツと僕!」製作委員会

今もある 優生思想を問う

忘れてほしくない～隠されてきた強制不妊手術～

飯塚 淳子さん(仮名)
新里 宏二さん

伊是名 夏子さん
※中日新聞「障害者は四つ葉のクローバー」連載中!

※イベント当日に急遽出演者が欠席になる可能性があります。

平成30年12月9日 日

[開場 9:30 / 開演 10:00]

中区役所ホール

名古屋市中区栄 4-1-8

名古屋市・障害者と市民のつどい実行委員会

名古屋市身体障害者福祉連合会 名身連事務局

TEL(でんわ) 052-682-0878 FAX(ファクス) 052-671-3124



【市バス】「栄」下車、南へ徒歩 2分。
【地下鉄】名城線「栄」下車、12・13番出口より東へ徒歩 1分。
※手話通訳・要約筆記、点字プログラム、拡大版プログラム、ルビフリ版プログラム、車いす席の用意があります。(内容によっては手話通訳や要約筆記がつかないことがあります。)
※公共交通機関をご利用ください。

「障害者週間」記念のつどい

障害のある人もない人も共に生きる社会

「障害者週間」とは？

昭和56年(1981年)の国際障害者年を記念して、毎年12月9日を「障害者の日」と定められ、障害者問題について国民の理解と認識を更に深め、障害者福祉の増進を図るために啓発行事が継続的に実施されてきた。障害者基本法の改正により、国民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、社会・経済・文化、その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めるため、毎年12月3日～9日が「障害者週間」と位置づけられた。

名古屋市においても一般社会の人々への啓発事業として、実行委員会を設置し、この事業を行う。

プログラム

※開場は9:30。12:00～13:00は休憩時間。

10:00

式典

名古屋市あいさつ
障害者と市民のつどい実行委員会あいさつ

10:20
12:00

新作映画

バケツと僕！

笑って泣いて、時々心に突き刺さる
最強のバディムービーが誕生！

養護施設で働くことになった神島(紘毅)は“バケツ”というあだ名の15歳の少年(徳永ゆうき)と出会う。バケツには軽度の知的障害と盗癖があり、母親から虐待を受け、拳銃の果てに捨てられ、さらには唯一の兄弟にも見放され、しまいには施設からも追い出されてしまう。神島は、先輩の黒田(岡本玲)からの協力を得て、バケツを引き取り面倒をみることにするのだが……。



©映画「バケツと僕！」製作委員会

午前の部

休憩

13:00
15:30

今もある優生思想を問う

映像 忘れてほしうない～隔されてきた強制不妊手術～

体験談 飯塚 淳子 いづかじゅんこさん(仮名)
1946年、宮城県で7人兄弟の長女として生まれる。16歳の時に知的障害を理由に不妊手術を受けさせられた。

弁護士 新里 宏二 にいさとこうじさん
1952年、盛岡市生まれ。中央大学法学部卒。消費者問題に積極的に取り組み、日弁連多重債務対策本部事務局局長などを務めた。

講演 伊是名 夏子 いせななつこさん
「障害者は四つ葉のクローバー」連載中!

コラムニスト。1982年、沖縄生まれ神奈川県在住。東京新聞・中日新聞、ハフポスト、琉球新報で連載中。骨の弱い障害「骨形成不全症」で電動車いすを使用。身長100cm、体重20kg、右耳が聞こえない。5歳と3歳の子育てを、総勢10人のヘルパーに支えられながらこなす。



午後の部

15:30

式典

障害者と市民のつどい実行委員会あいさつ

